

那賀川自然再生事業の報告

那賀川河川事務所

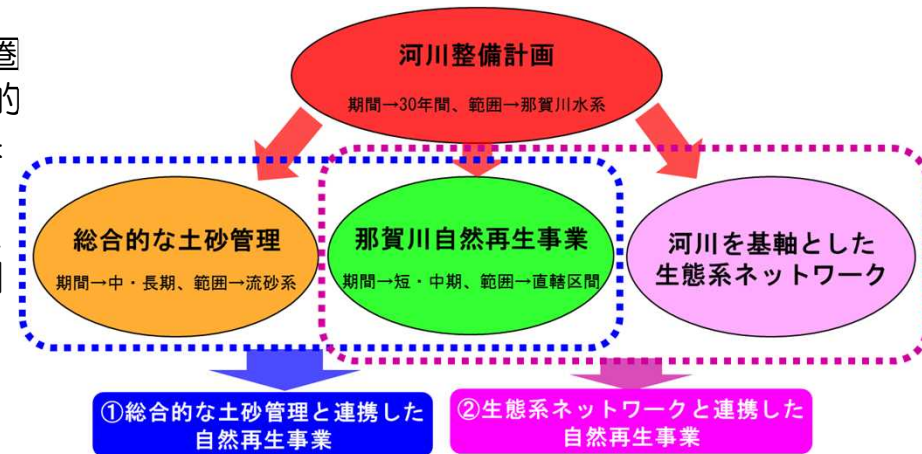
那賀川自然再生事業

那賀川自然再生事業〔R3～R27〕

- 整備目的** : 土砂動態の変化等により悪化した那賀川の河川環境を再生し、多様な動植物の生息・生育・繁殖環境の回復させる。
- 現状と課題** : 汽水域の干潟では、トビハゼやシオマネキ等などの魚類・甲殻類の生息場となっているが、水際の単調化や連続性の消失により干潟が減少しており、動植物の生息・生育・繁殖に影響を及ぼしている。下流域では、土砂供給量の減少等による河床低下の進行により、アユの産卵場やナベツルのねぐらとなる浅瀬が減少している。中流域では、樹林化が進行し、レキ河原や細流環境が減少しており、ナベツルがねぐらとして利用できる環境が減少している。
- 整備内容** : 汽水域<干潟・湿地環境の保全・再生> 高水敷整備、高水敷掘削、水制工整備、樹木伐採 等
 下流域<瀬環境・浅瀬の保全・再生> 河床整正、床止工（根固めブロック等） 等
 中流域<レキ河原・細流環境の保全・再生> 樹木伐採、河床整正 等

■基本的な考え方

- ◆「那賀川自然再生事業」と「総合的な土砂管理」「四国圏域生態系ネットワーク推進協議会」等の中長期的・重層的な取り組みとの連携により、那賀川の多様な動植物の保全・再生を図る。
- ◆阿南市が進める「生物多様性あなん戦略」の取り組みと「那賀川自然再生事業」を一体的に進めることにより、関係機関・地域住民等との連携・協働を図る。
- ◆那賀川を基軸とした生態系ネットワークについては、今後設立に向けて準備を進めていく。



■自然再生目標及び方向性

土砂動態の変化等により悪化した那賀川の河川環境は、現状のままでは自然の営力による回復は期待できないことから、関連工事等と連携して、多様な動植物の生息・生育・繁殖環境の回復を目指す。

目標① アユの産卵場となる瀬環境やナベツルのねぐらとなる浅瀬などの保全・再生

目標② シオマネキ等が生息する干潟環境やコウノトリ・ツル類の餌場となる湿地環境の保全・再生

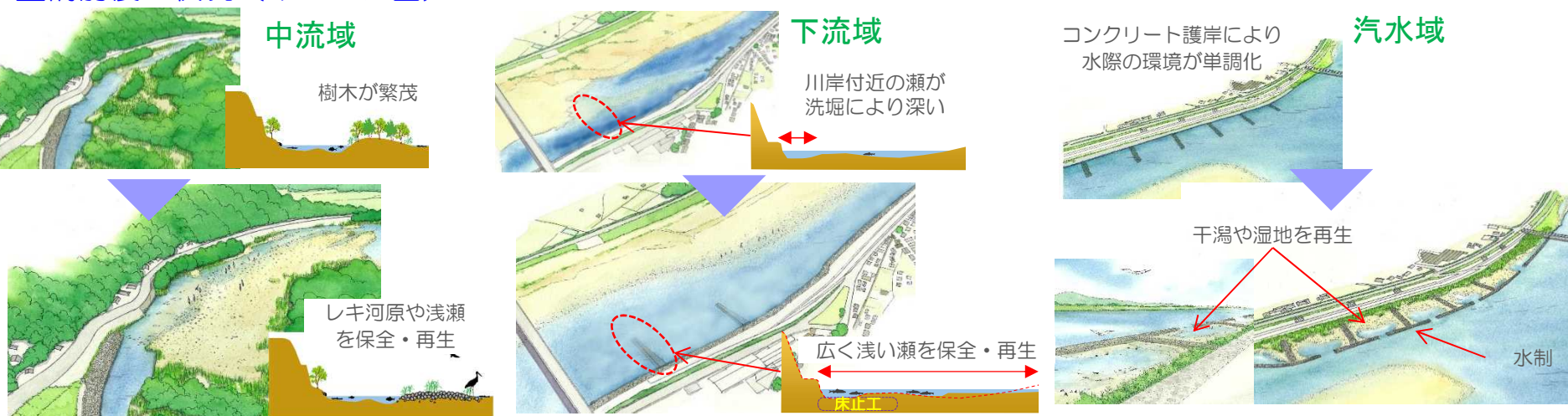
那賀川自然再生事業

■ 整備位置

現状における課題を踏まえつつ、生物の生息・生育・繁殖環境として機能が低下している場所を抽出し、河川整備計画との整合を図りながら、自然再生に向けた整備が実現可能な箇所を選定



■ 整備前後の状況（イメージ図）



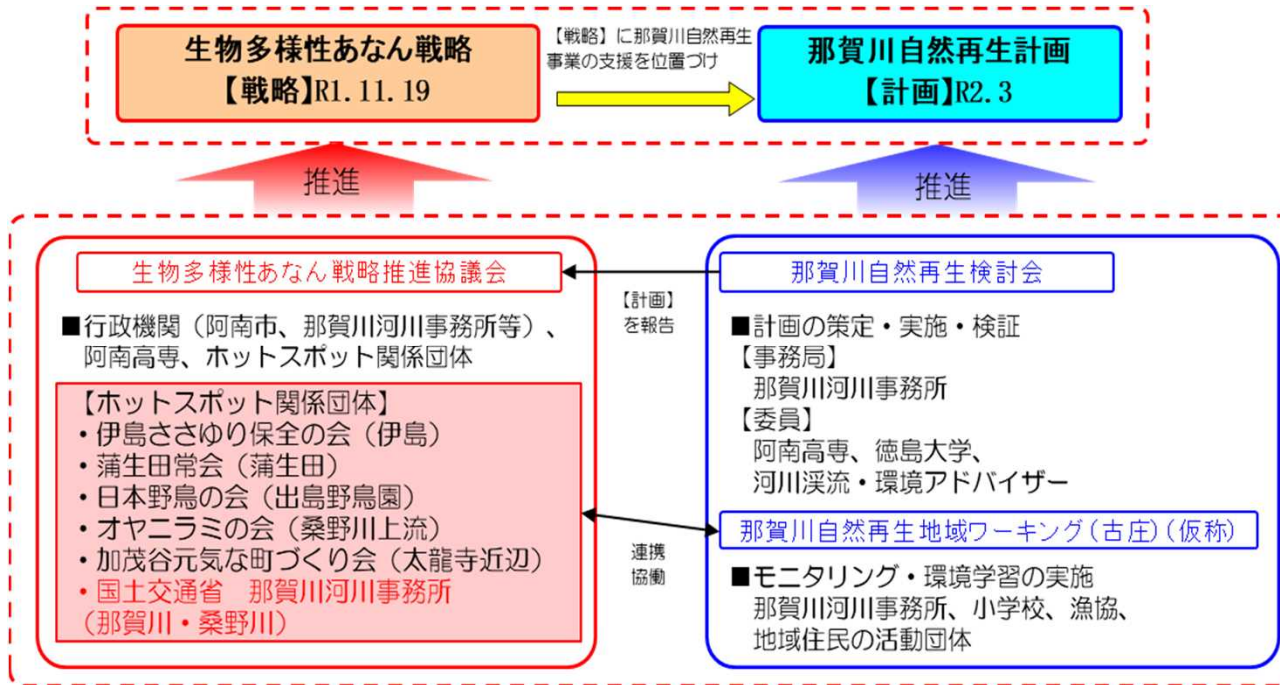
那賀川自然再生事業

■ 関連事業との整合

- ・ 那賀川自然再生事業は、阿南市で策定の「生物多様性あなん戦略」に支援を位置づけられており、事業の実施にあたっては阿南市、阿南高専および「阿南市生物多様性ホットスポット」の関係団体等で構成される「生物多様性あなん戦略推進協議会」と連携・協働を図っている。
- ・ 学識者を中心に構成される「那賀川自然再生検討会」と学校関係者・漁協・地域住民の活動団体等で構成される「那賀川自然再生地域ワーキング（古庄）（仮称）」により推進する。

■ 地域交流・維持管理

- ・ 那賀川流域の小学校では、那賀川や自然環境をテーマとした環境学習が実施されており、今後も那賀川流域の特徴的な自然環境を教材とした環境学習や自然再生に関する勉強会・出前講座を実施することで、自然再生事業への知識や理解が高まり、地域が主体となった自主活動への移行が可能となる。
- ・ 漁業協同組合と連携した「アユの産卵場づくり」など、多様な団体が参画する維持管理やモニタリングへの発展を促す。



アユ産卵場づくり体験（令和5年10月）



干潟観察会（令和5年7月）



■アユの産卵場調査



- 令和4年度のモニタリング調査により、イコス堰～北岸堰区間において複数のアユの産卵場の創出を確認。



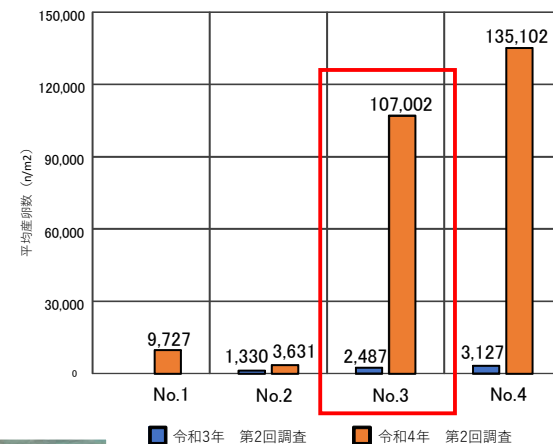
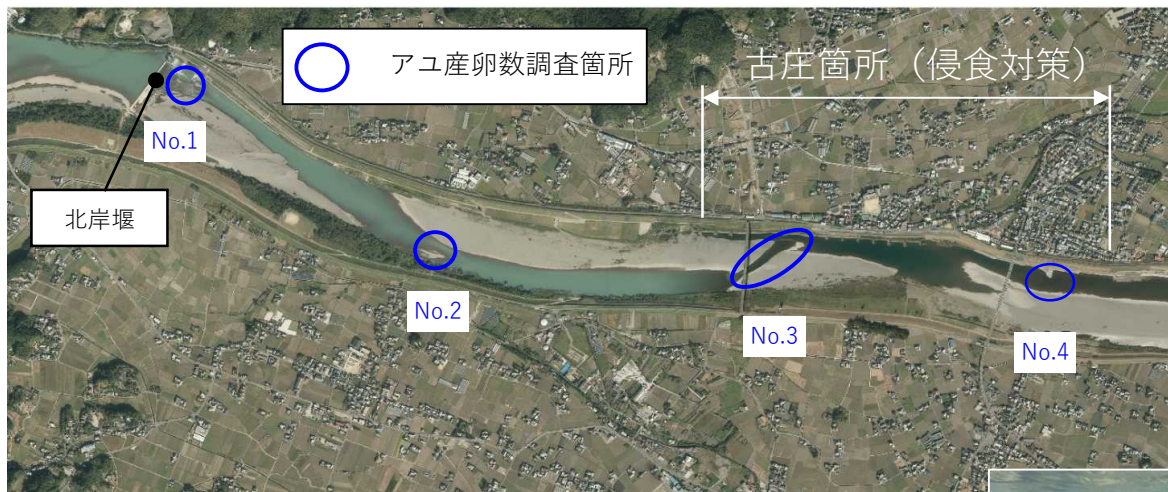
■アユの流下仔魚調査



- アユ仔魚の生態に合わせて、プラクトンネットによる採捕を実施。

侵食対策工事による浅瀬環境の再生

- 侵食対策工事に合わせ、局所洗掘箇所を河川掘削土で埋戻・整正したことにより、アユの産卵場となる浅瀬環境の再生を実施した。
- R4年度の調査結果では、侵食対策実施箇所のNo.3において平均産卵数が前年比約43倍と大幅増を確認。
- 年度により産卵場所の変遷も見られるため、今後もモニタリングを継続していく。



施工前



施工中



施工後

自然環境の保全・復元などの自然再生(置土)

- ダム貯水池容量の維持とダム下流の河川環境改善（粗粒化の解消など）を目指して、長安口ダム上流に堆積した土砂を掘削し、ダム下流への置土(土砂還元)を実施。
- 平成19年から令和3年度までに約2,050千m³の土砂を除去し、約1,680千m³の土砂を還元。
- 土砂還元により、淵であった箇所には瀬や砂礫河原が出現し、変化に富んだ河川環境が復元。
- 川口ダム上流河道では、土砂還元により供給された礫が主体の河床材料で構成される箇所において、新たにアユの産卵場を確認。

